

HL-L6400DW

簡単お手入れマニュアル

HL-L6400DW : Maintenance Manual

本書は、お客様ご自身で簡単にトラブル解決できるメンテナンス方法をまとめたものです。
是非、お手元に大切に保管してご活用ください。

目 Index

-
- 01 メンテナンス
 - 02 困ったときは?(トラブル対処方法)
 - 03 消耗品の交換方法
 - 04 インフォメーションのご案内
-

01 メンテナンス

＞ 定期メンテナンス

以下の部品を定期的に清掃することをおすすめします。

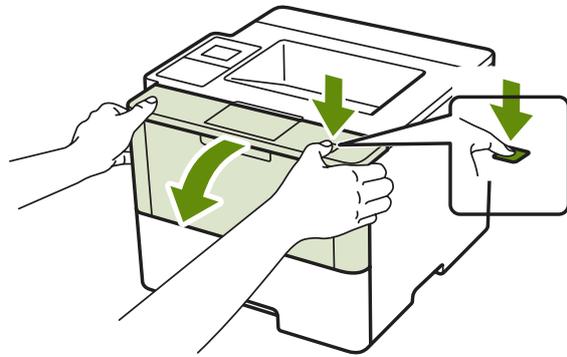
■ コロナワイヤー ■ ドラムユニット ■ 給紙ローラー

→ コロナワイヤーの清掃

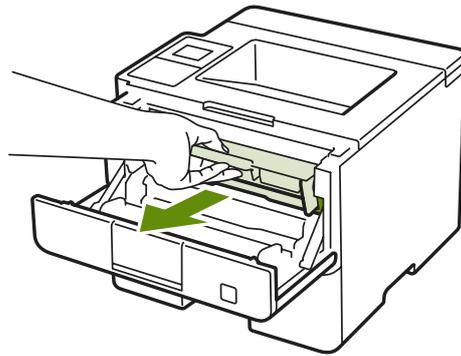
以下のような場合、コロナワイヤーを清掃してください。

- ・ 画面に【ドラム お手入れ】のメッセージが表示された
- ・ 印刷したページに汚れが入る（印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入る）

- ① フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開けます。



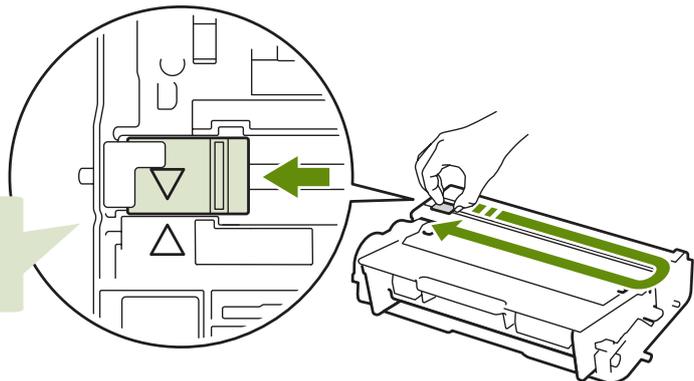
- ② ドラムユニットを取り出します。



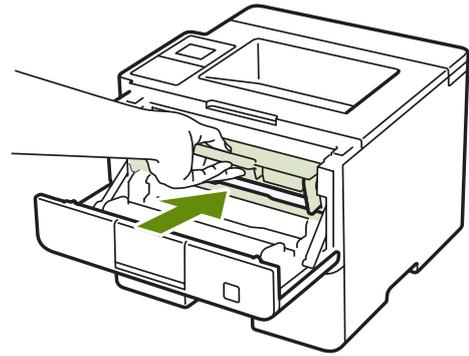
- ③ 緑色のつまみを 2～3 回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃してください。

- ④ 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻します。

元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。



- ⑤ ドラムユニットを戻し、フロントカバーを閉じます。



→ ドラムユニットの清掃

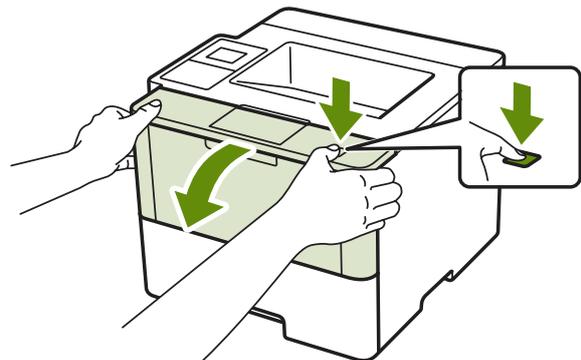
印刷したページに約 94mm 間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

- ① 本製品が待機状態であることを確認します。

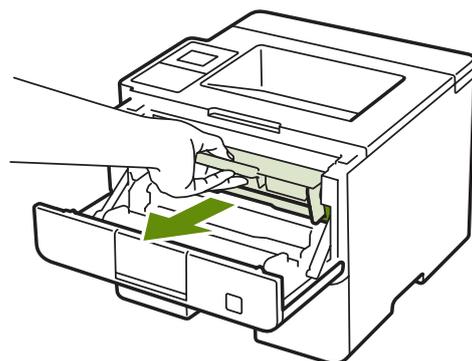
 【メニュー】 → 【製品情報】 → 【ドラム汚れ印刷】 を押して 【OK】 を押します。
ドラムチェックシートが印刷されます。

- ② 本製品の  を長押しして電源をオフにします。

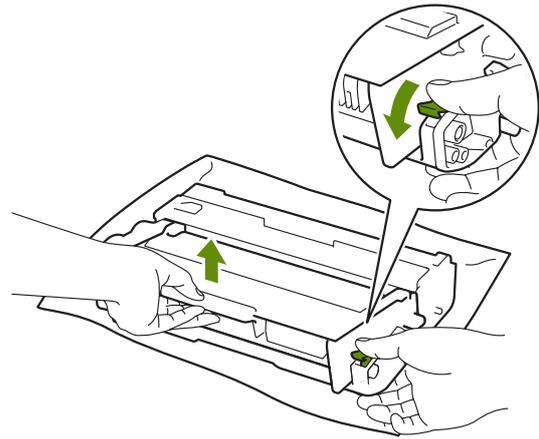
- ③ フロントカバーを開けます。



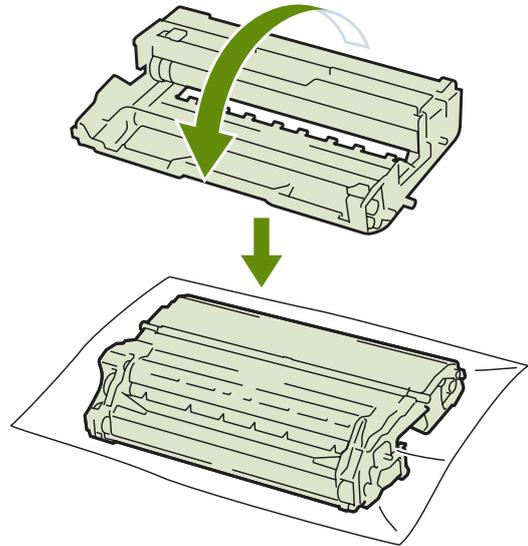
- ④ ドラムユニットを取り出します。



- ⑤ 緑色のロックレバーを押し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出します。



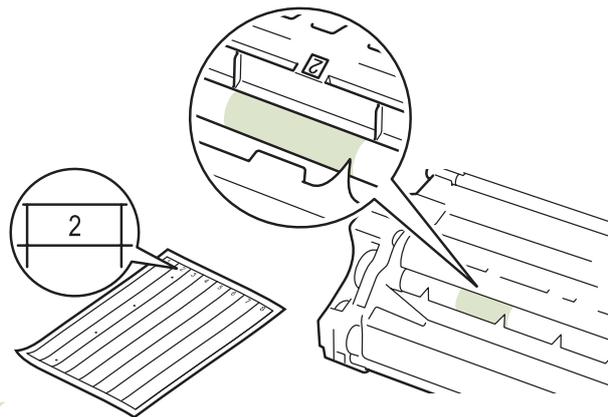
- ⑥ ドラムユニットを裏返します。



- ⑦ 印刷したドラムチェックシートを確認します。
ドラムユニットと該当する番号を確認します。

感光ドラムの汚れの場所を探してください。

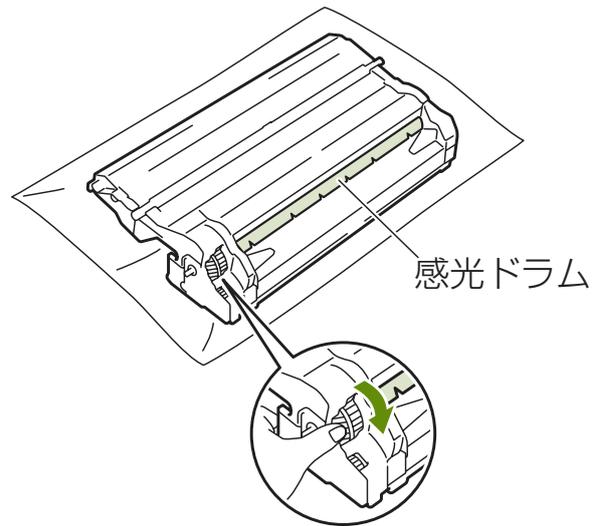
ドラムチェックシートの番号と、ドラムユニットの該当番号を照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を探します。



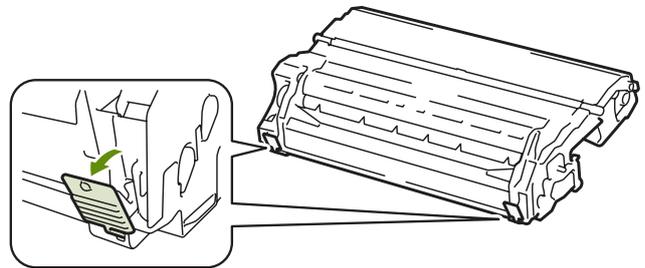
ドラムチェックシートの「2」の欄に汚れの点がある場合は、ドラムユニットの該当番号「2」の範囲内の感光ドラム上に汚れがあります。

⑧ 感光ドラムの汚れの場所を特定します。

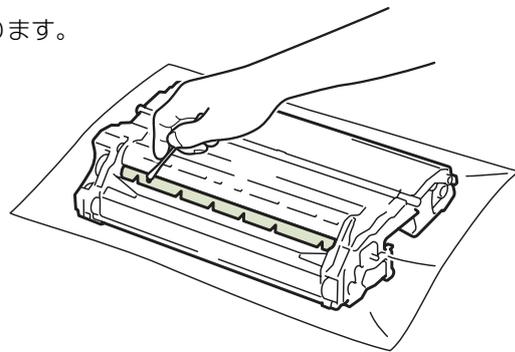
ドラムユニットの端を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にします。



黒いレバーを引き下げると、より容易にドラムユニットを回すことができます。回し終えたら、必ずレバーを元に戻してください。



⑨ 感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取ります。



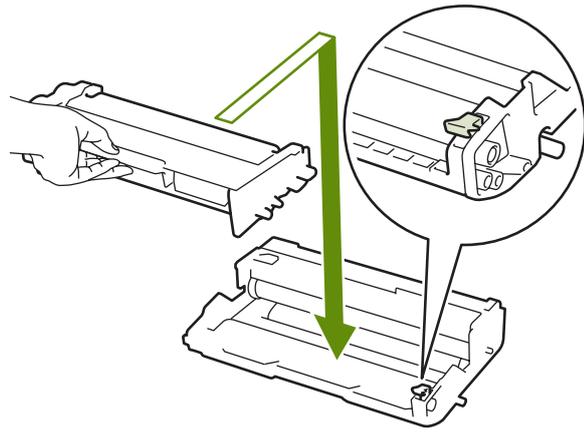
! 注意

- ▶ 感光ドラムの表面を、液体やとがったもので清掃しないでください。
- ▶ 電動器具は使用しないでください。

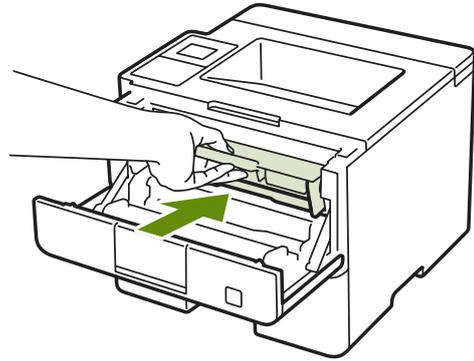
⑩ ドラムユニットを裏返します。

- ⑪ トナーカートリッジがロックされるように
ドラムユニットに取り付けます。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、
緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



- ⑫ ドラムユニットを戻して、フロントカバーを閉じます。



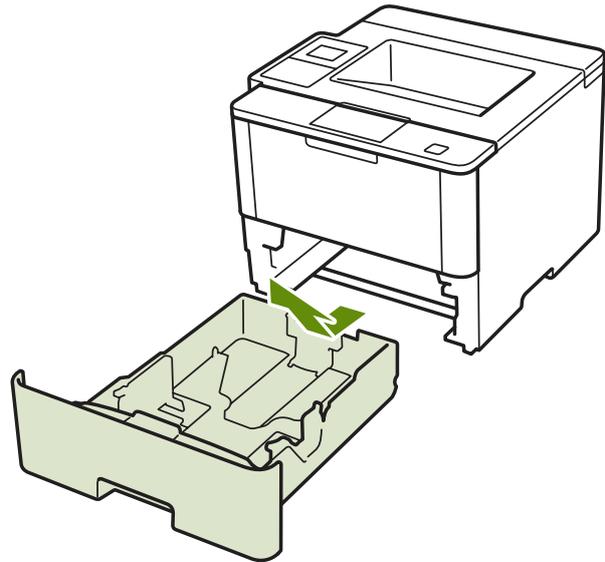
- ⑬ 本製品の  を長押しして電源をオフにします。

→ 給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、用紙をうまく給紙しないことがあります。
その場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

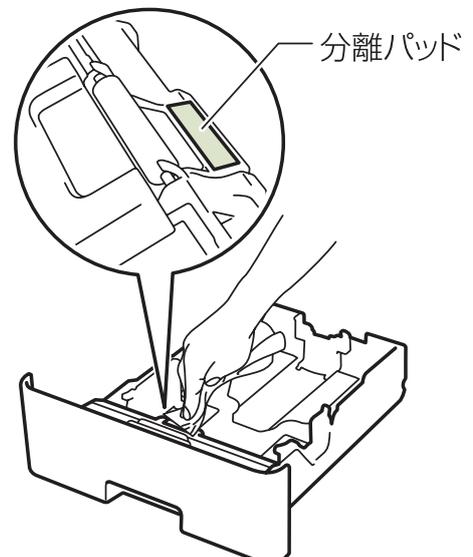
- ① 本製品の  を長押しして電源をオフにします。

- ② 用紙トレイを完全に引き出してください。

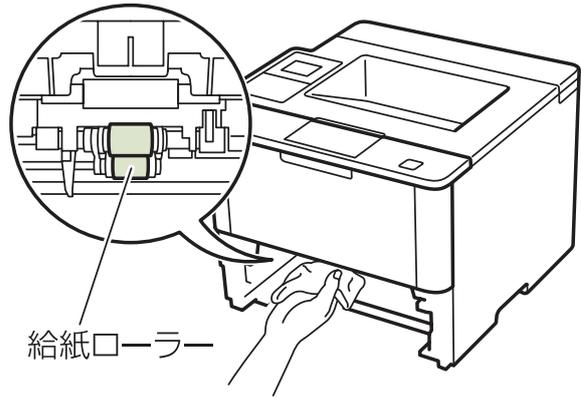


- ③ 用紙トレイから用紙を取り出します。
用紙トレイ内につまった用紙がある場合は
取り除いてください。

- ④ 水または、ぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、
用紙トレイ内の分離パッドを拭きます。



- 5 本製品内部にある給紙ローラー（2つ）を拭きます。



- 6 用紙をセットして、用紙トレイを本製品に戻します。

- 7 本製品の  を押して電源をオンにします。

02 困ったときは?(トラブル対処法)

> 用紙がつまった時

→ 多目的トレイに用紙がつまったとき

画面に以下のように表示されたときは、多目的トレイに用紙がつまっています。

[紙詰まり 多目的用紙トレイ]

- 1 多目的トレイからつまっていない用紙を取り除きます。

- 2 多目的トレイからつまった用紙を取り除きます。
両手でゆっくり引き出してください。

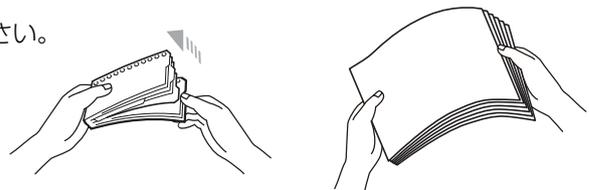


Point

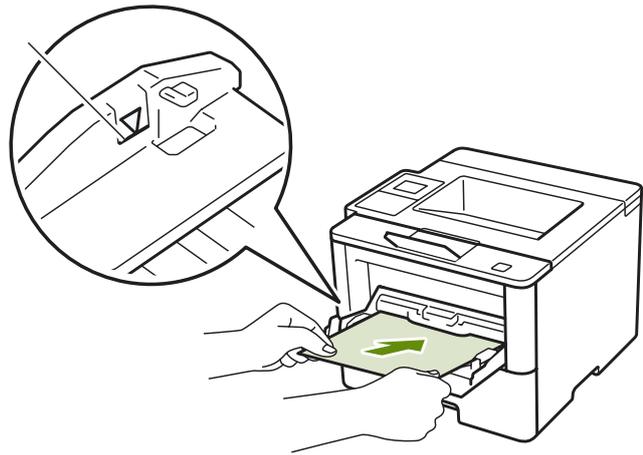
▶ つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品内部に用紙が残っていないか確認してください。

- 3 多目的トレイ内部や周辺につまっている用紙を取り除きます。

- 4 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、用紙をよくさばいてください。



- ⑤ 多目的トレイに用紙をセットします。
用紙は用紙ガイドの両側にあるタブ①より
下に収まるように入れてください。



- ⑥ 【リトライ】 を押します。

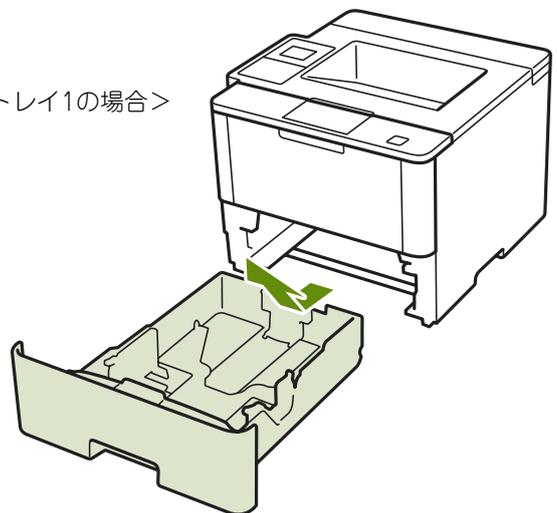
→ 用紙トレイに用紙が詰まったとき

画面に以下のように表示されたときは、用紙トレイ（トレイ 1）または、増設用紙トレイ（トレイ 2～4）に用紙が詰まっています。

- 〔紙詰まり トレイ 1〕
- 〔紙詰まり トレイ 2〕
- 〔紙詰まり トレイ 3〕
- 〔紙詰まり トレイ 4〕

- ① 画面に表示されている用紙トレイを、本製品から完全に引き出してください。

<トレイ1の場合>



- ② つまった用紙を取り除きます。
両手でゆっくり引き出してください。



Point

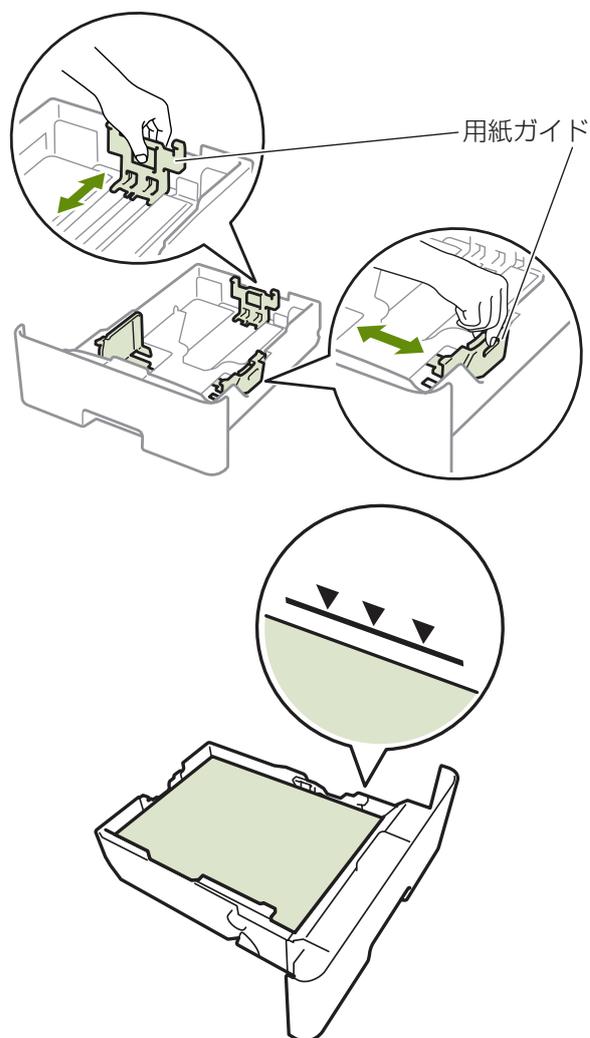
- ▶ つまった用紙を下向きに引くと、簡単に取り除くことができます。
- ▶ ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- ▶ つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品内部に用紙が残っていないか確認してください。

- ③ 用紙が用紙トレイの適切な位置にセットされているか確認します。

• 緑色のつまみを押しながら用紙ガイドをスライドさせて印刷する用紙のサイズに合わせます。

• 用紙ガイドの▼▼▼マークより下に収まっていることを確認してください。

• 用紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。



- ④ 用紙トレイを本製品に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

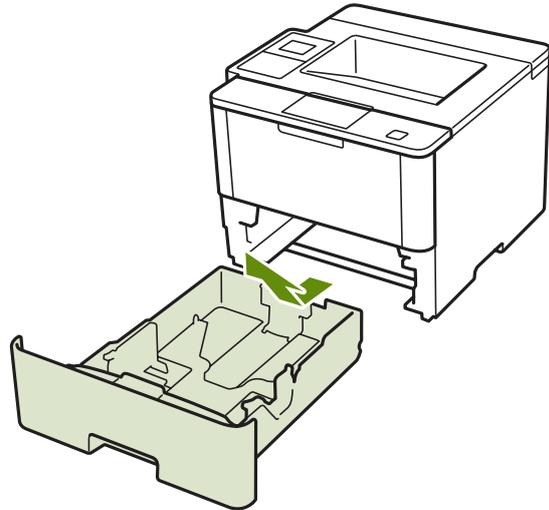
→ 両面印刷時に用紙が詰まったとき

画面に以下のように表示されたときは、用紙トレイ底面に用紙が詰まっています。

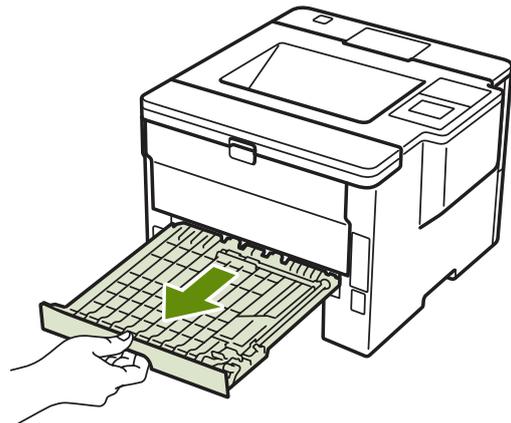
[紙詰まり 両面]

- ① 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで 10 分以上待ちます。

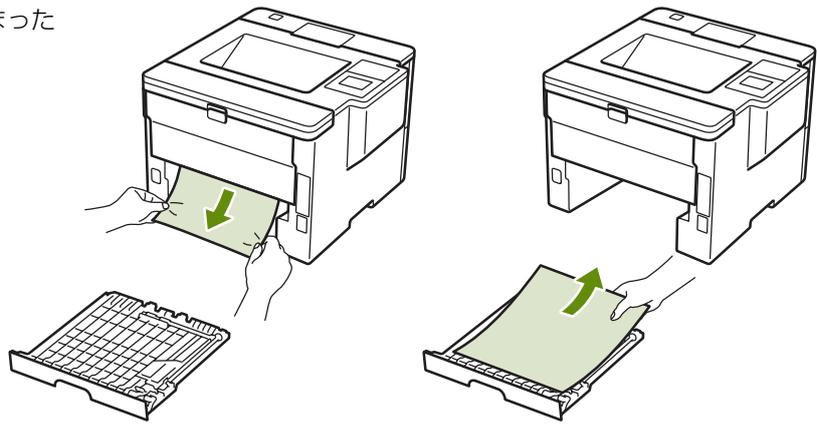
- ② 本製品から用紙トレイを完全に引き出してください。



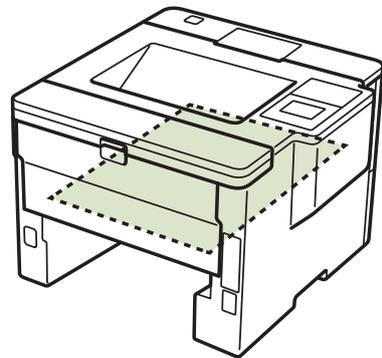
- ③ 本製品の背面から両面トレイを完全に引き出します。



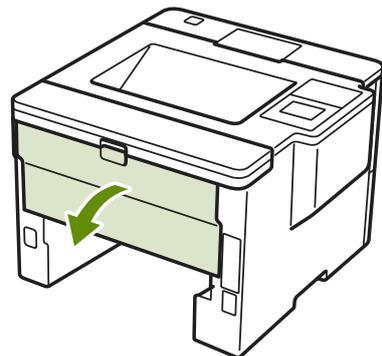
- ④ 本製品の内部または両面トレイにつまった用紙を取り除きます。



- ⑤ 本製品の底面につまった用紙がないか確認してください。

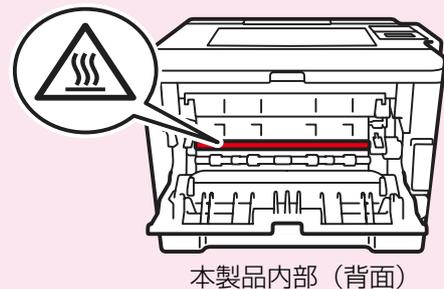


- ⑥ バックカバーを開きます。

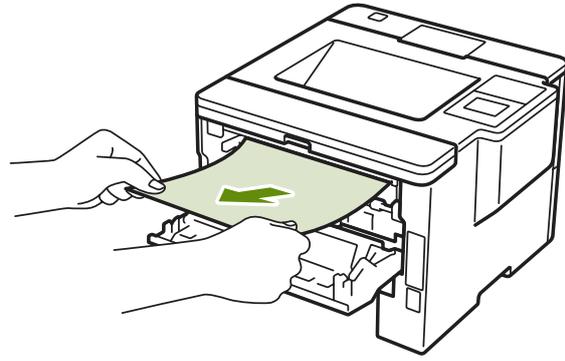


注意

▶ 本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストの赤色の部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



- ⑦ つまった用紙を取り除きます。
両手でゆっくり引き出してください。



Point

- ▶ ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- ▶ つまった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品内部に用紙が残っていないか確認してください。

- ⑧ バックカバーをしっかりと閉じます。

- ⑨ 用紙トレイと両面トレイを本製品に戻します。
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

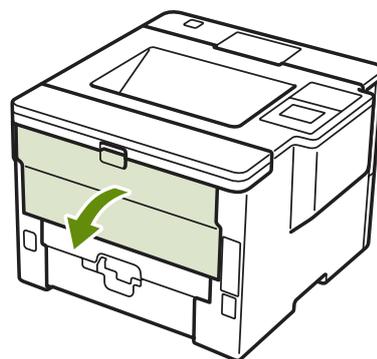
→ 両面印刷時に用紙が詰まったとき

画面に以下のように表示されたときは、バックカバー内に用紙が詰まっています。

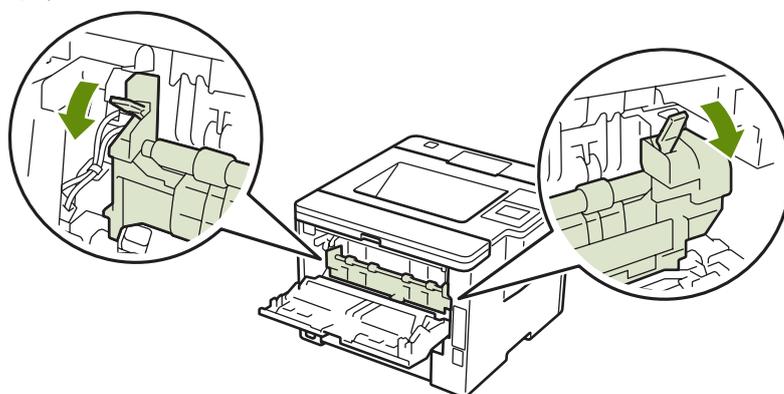
[紙詰まり 後ろ]

- ① 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで 10 分以上待ってください。

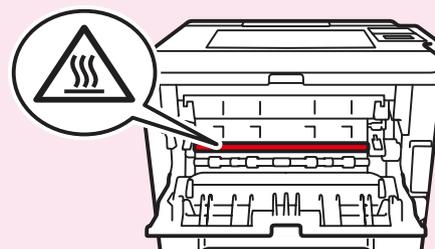
- ② バックカバーを開きます。



- ③ 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開きます。

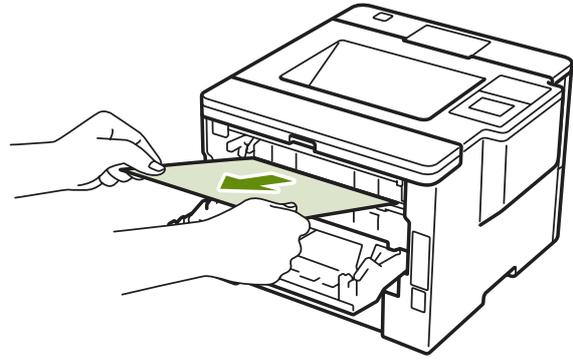
**注意**

- ▶ 本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストの赤色の部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



本製品内部（背面）

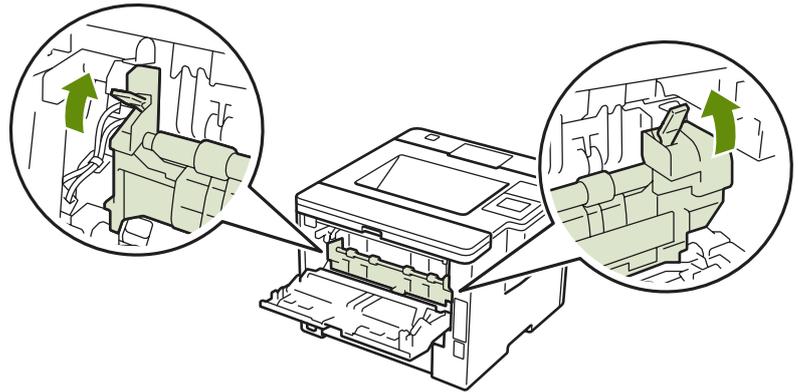
- ④ 定着ユニットからつままった用紙を取り除いてください。
両手でゆっくり引き出してください。



Point

- ▶ ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。
- ▶ つままった用紙を取り除いたときに用紙が破れた場合は、本製品内部に用紙が残っていないか確認してください。

- ⑤ 定着ユニットカバーを閉じます。
左右の緑色のつまみが上がり固定されたことを確認してください。



- ⑥ バックカバーを閉じます。

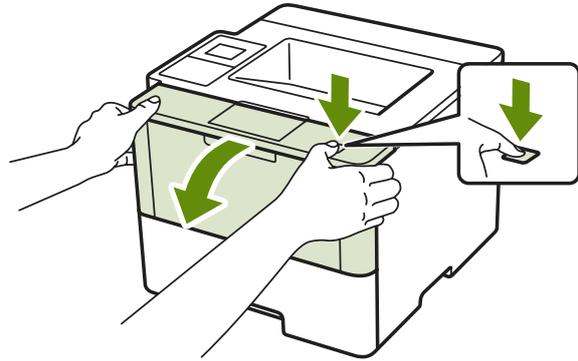
→ プリンタ内部に用紙がつまったとき

画面に以下のように表示されたときは、本製品内部に用紙がつまっています。

[紙詰まり 内部]

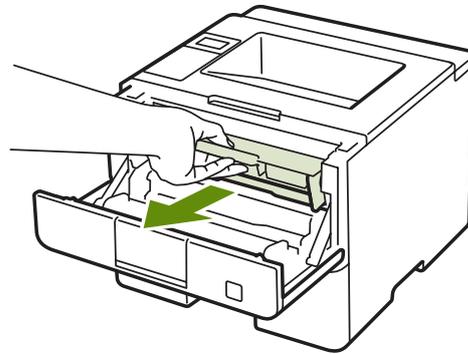
- ① 電源をオンにしたまま、本製品の熱が冷めるまで 10 分以上待ってください。

- ② フロントカバーを開けます。



- ③ ドラムユニットを取り出します。

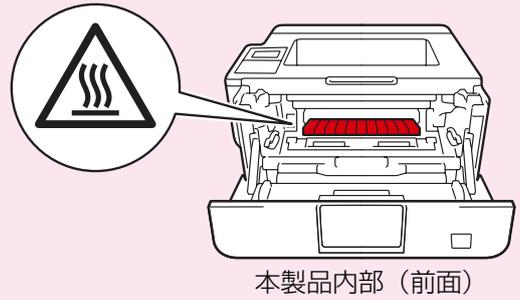
ドラムユニットを取り出すことで、つまった用紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部からつまった用紙を取り除くことができます。

**注意**

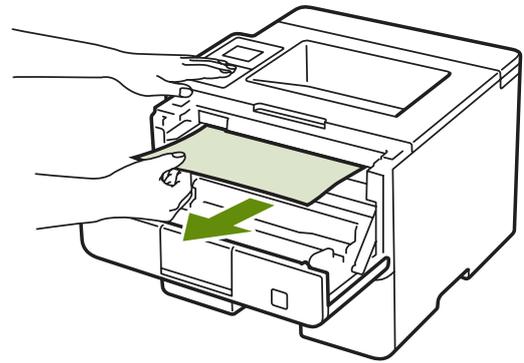
- ▶ ドラムユニットを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ▶ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

注意

- ▶ 本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストの赤色の部分には触れないでください。やけどの恐れがあります。



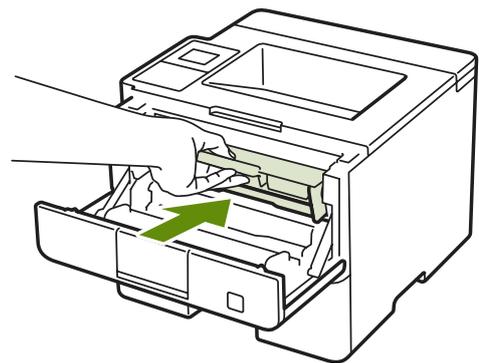
- 4** つまった用紙を取り除いてください。
ゆっくり引き出してください。



Point

- ▶ ペンやはさみのような先のとがったもので用紙を取り除かないでください。

- 5** ドラムユニットを戻してフロントカバーを閉じます。



Point

- ▶ 本製品内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にパソコンからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。
- ▶ 本製品内部に用紙がつまっているときに本製品の電源をオフにした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷します。本製品の電源をオンにする前に、パソコンの印刷実行ジョブを削除してください。

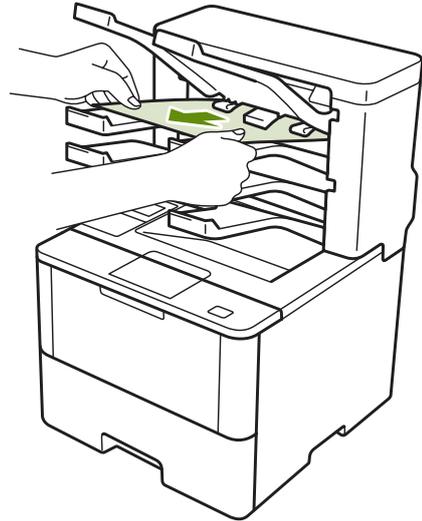
→ メールボックスに用紙が詰まったとき

画面に以下のように表示されたときは、メールボックスに用紙が詰まっています。

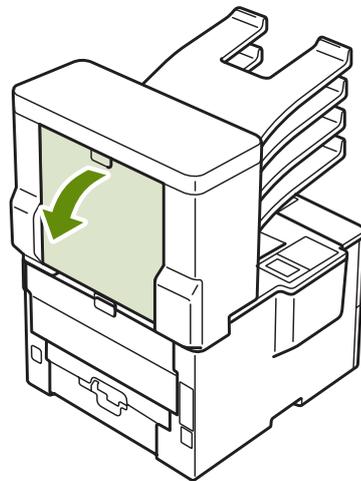
[紙詰まり メールボックス]

- ① 画面に表示されているビンにつまった用紙を取り除きます。

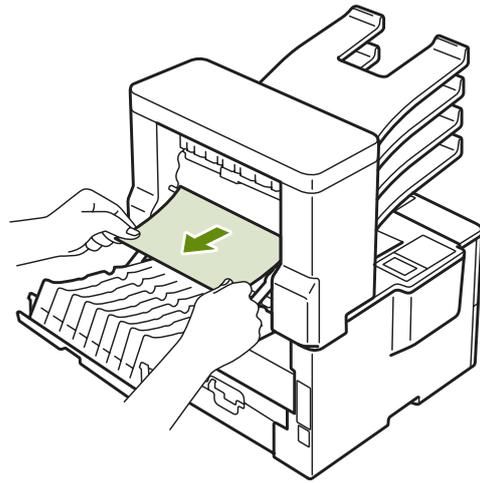
両手でゆっくり引き出してください。



- ② メールボックスのバックカバーを開きます。



- ③ メールボックスにつまった用紙を取り除きます。
両手でゆっくり引き出してください。



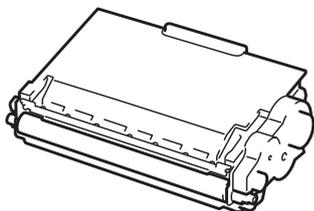
-
- ④ メールボックスのバックカバーをしっかりと閉じます。

03 消耗品の交換方法

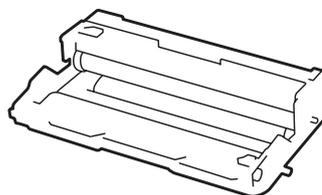
> 消耗品について

本製品の消耗品は下記のとおりです。

■ トナーカートリッジ (TN-63J)

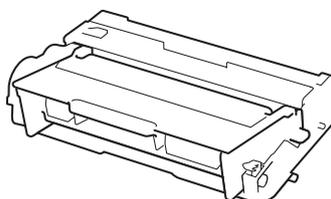


■ ドラムユニット (DR-60J)



> トナーカートリッジとドラムユニットについて

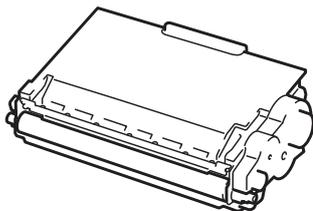
本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態

トナーカートリッジ

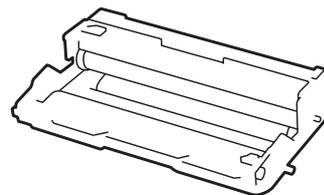
型番：TN-63J



印刷するための粉末（トナー）が入っています。

ドラムユニット

型番：DR-60J



トナーを用紙に写すユニットです。

> 消耗品の寿命を確認する

トナーの残量やドラムユニットの寿命など、消耗品の寿命は以下の方法で確認できます。

①  【メニュー】 → 【製品情報】 → 【ドラム汚れ印刷】 を押して 【OK】 を押します。

② 確認したい消耗品を押します。
画面に、おおよその残りの寿命が表示されます。

③  を押します。

警告

- ▶ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災の原因となります。
- ▶ こぼれたトナーはほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。
掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。



注意

- ▶ トナーをまき散らして、目に入ったりしないように注意してください。
- ▶ 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

消耗品のご注文について

EMオンラインSHOP

トナーカートリッジ、ドラムユニットをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

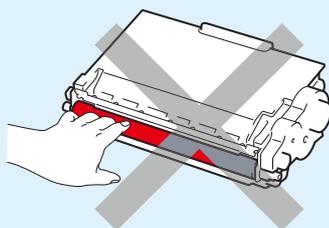
<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

※ご利用にはお客様専用の ID ・パスワードが必要です。

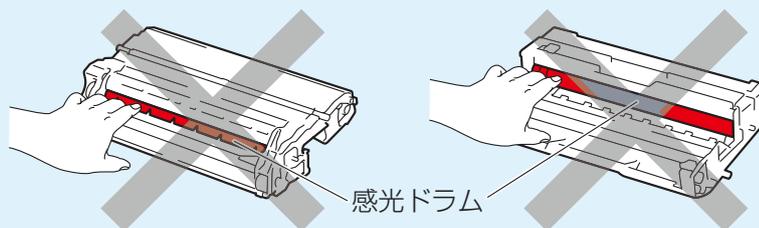
Point

- ▶ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ▶ 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。
- ▶ 使用済みのドラムユニットを交換する場合は、トナーの粉が残っていることがあるので、取り扱いには注意してください。
- ▶ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。
万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- ▶ 開封したドラムユニットが直射日光や過度の室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- ▶ トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。
⇒ 20 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- ▶ ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。
⇒ 20 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- ▶ 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正のドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- ▶ 純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、故障の原因となり、本製品の保証が無効になります。
- ▶ 新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けてください。
- ▶ 印刷品質の劣化を防止するため、イラストの赤色の部分には触れないようしてください。

<トナーカートリッジ>



<ドラムユニット>



 注意

- ▶ トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

- ▶ 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、新品のトナーカートリッジが入っていた袋に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。
⇒ 33 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

- ▶ ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

- ▶ 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、新品のドラムユニットが入っていた袋に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。
⇒ 33 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。

詳しくは ⇒ 33 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

Point

- ▶ 本製品は、以下の 2 つの方法でトナーカートリッジの交換時期を検出します。
 - ①印刷に使用されるドット数のカウントによる検出
 - ②現像ローラーの回転数のカウントによる検出このいずれかが上限値になると印刷を停止し、画質劣化や製品損傷を防ぎます。
- ▶ 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- ▶ トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。詳しくは ⇒ 1 ページ「01. メンテナンス」を参照してください。

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと、画面に以下のメッセージを表示してお知らせします。

【まもなくトナー交換】

Point

- ▶ 画面に【まもなくトナー交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、【トナー交換】が表示される前に準備しておいてください。
- ▶ 印刷結果がかすれる場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは ⇒ 26 ページ「トナーカートリッジを交換する」

→ トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると画面に以下のメッセージが表示されます。

[トナー交換]

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷ができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

👉 Point

- ▶ お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、下記オンラインショップをご利用ください。

消耗品のご注文について

EMオンラインSHOP

トナーカートリッジをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

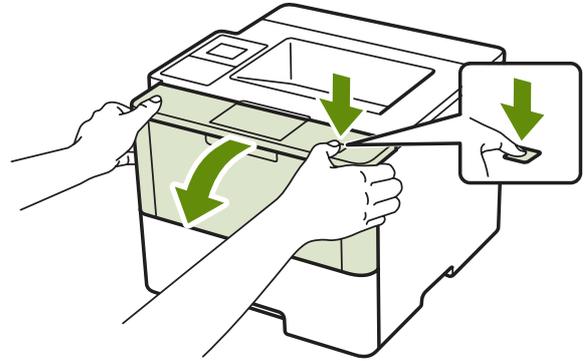
<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。

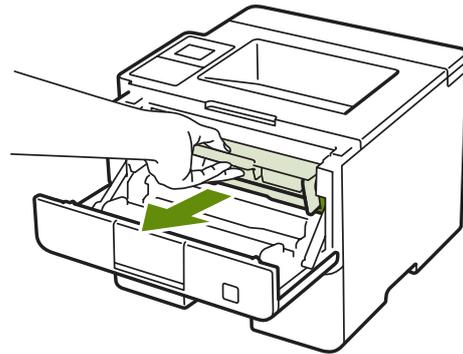
→ トナーカートリッジを交換する

- ① 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
電源がオフの場合は、 を押して電源をオンにしてください。

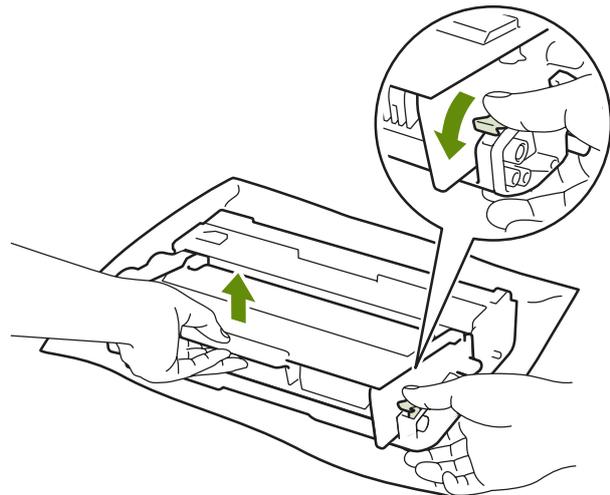
- ② フロントカバーを開けます。



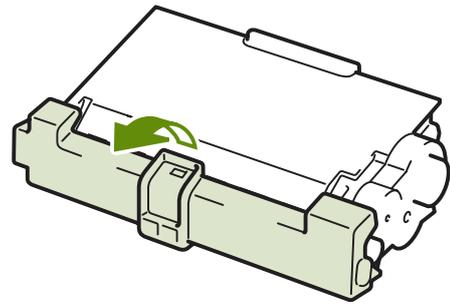
- ③ ドラムユニットを取り出します。



- ④ 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。



- ⑤ 新しいトナーカートリッジを開封し、保護カバーを取り除きます。

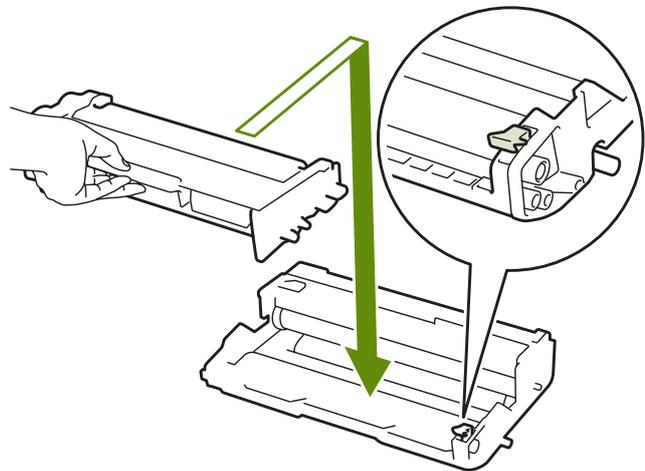


注意

▶ トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

- ⑥ トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付けます。

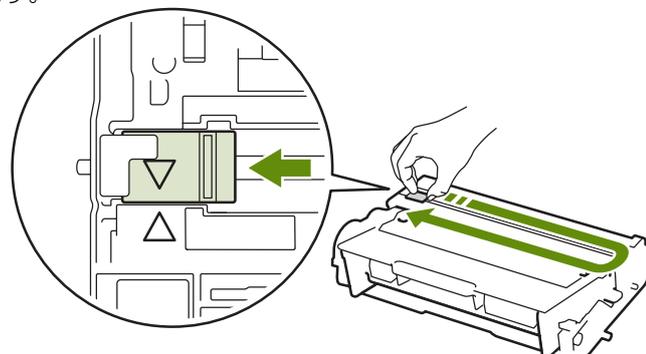
正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



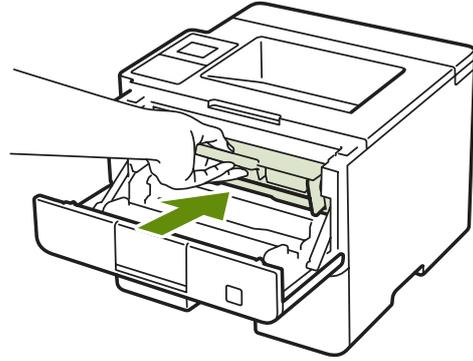
- ⑦ 緑色のつまみを 2～3 回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃します。

- ⑧ 緑色のつまみを元の位置 (▲) に戻します。

元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。



- ⑨ ドラムユニットを戻し、フロントカバーを閉じます。



! 注意

- ▶ 画面に【お待ちください】と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源をオフにしたりフロントカバーを開けたりすると、新しいトナーを検知できない場合があります。

▶ ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、画面にドラムユニットの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。

詳しくは ⇒ 33 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

Point

- ▶ ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約 30,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ▶ 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- ▶ ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。詳しくは ⇒ 1 ページ「01. メンテナンス」を参照してください。

→ ドラムユニットエラーのメッセージ

【ドラム お手入れ】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒ 1 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。

コロナワイヤーの清掃をしても、【ドラム お手入れ】の表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。

詳しくは⇒ 31「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

→ まもなくドラムユニット交換のメッセージ

本製品はドラムユニットの寿命を検知し、交換時期が近づくと画面に以下の表示して、お知らせします。
以下のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットの交換時期が近づいています。新しいドラムユニットを購入し、【ドラム交換】が表示される前に準備しておいてください。

【まもなくドラム交換】

👉 Point

- ▶ メッセージが表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもありますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいドラムユニットを購入し、交換することをおすすめします。

→ ドラムユニット交換のメッセージ

画面に以下のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットを交換してください。

【ドラム交換】

ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

👉 Point

- ▶ ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約 30,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ▶ ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。詳しくは ⇒ 1 ページ「定期メンテナンス」を参照してください。
- ▶ お近くでドラムユニットが手に入らないときは、下記オンラインショップをご利用ください。

消耗品のご注文について

EMオンラインSHOP

ドラムユニットをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

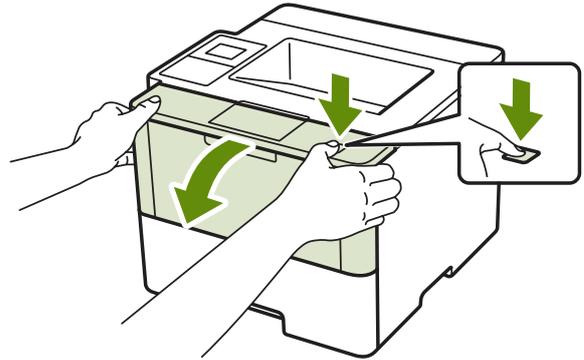
※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。

→ ドラムユニットを交換する

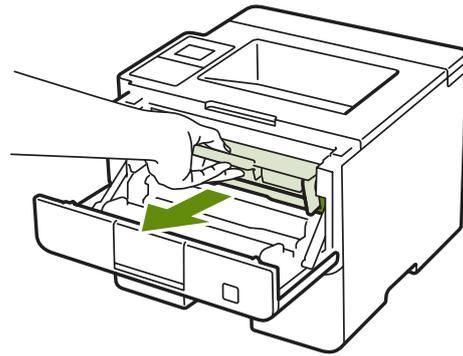
新しいドラムユニットに交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットする必要があります。

- ① 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
電源がオフの場合は、 を押して電源をオンにしてください。

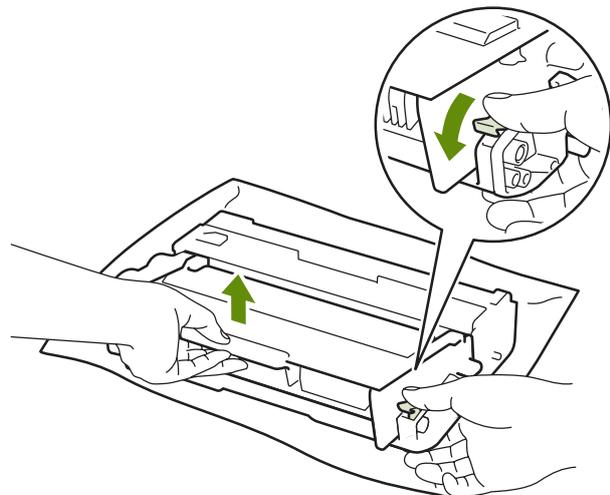
- ② フロントカバーを開けます。



- ③ ドラムユニットを取り出します。

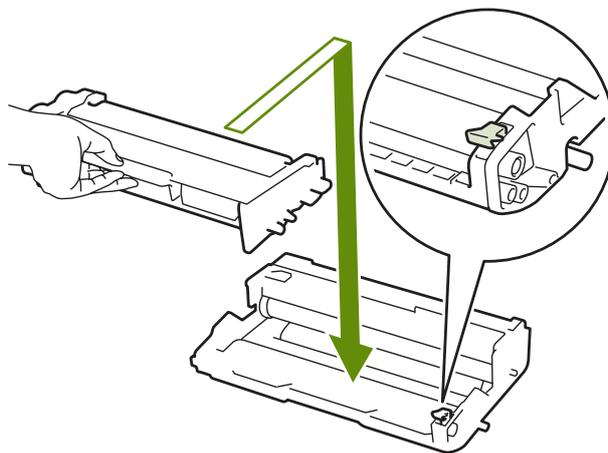


- ④ 緑色のロックレバーを押し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

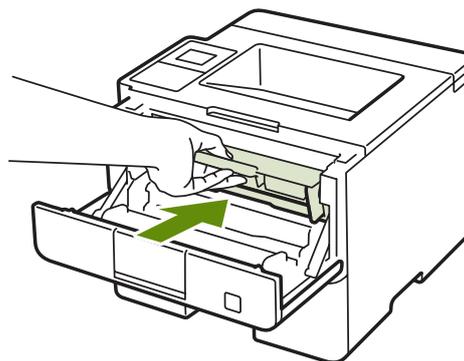


- ⑤ 新しいドラムユニットを開封し、トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付けます。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが元の位置に戻ります。



- ⑥ ドラムユニットを戻し、フロントカバーを閉じます。



→ ドラムユニットのカウンターリセット

ドラムユニットを交換したときは、以下の手順に従ってドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

- ① 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
電源がオフの場合は、 を押して電源をオンにしてください。
- ②  を押します。
- ③  を押してエラーを中断します。
- ④  【メニュー】 → 【製品情報】 → 【消耗品寿命】 を押します。
- ⑤ タッチパネルのメッセージが変わるまで【ドラム寿命】を押してください。
- ⑥ 【はい】を押します。
- ⑦  を押します。

> 消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。ご使用済みの消耗品の回収にご協力をお願いいたします。詳しくは以下のホームページを参照してください。

https://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

04 インフォメーションのご案内

HL-L6400DW の操作、故障に関するお問い合わせは各地区の管轄インフォメーションセンターまでお願いいたします。

管轄インフォメーションセンター	対象	電話番号	FAX 番号
東京インフォメーションセンター	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、新潟県、 山梨県、長野県の 調剤システムをご利用のお客様	050-5577-2793	03-5956-0125
	E-mail	tkinfo@emsystems.co.jp	
東京インフォメーションセンター【医科】	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、新潟県、 山梨県、長野県の 医科システムをご利用のお客様	050-5577-5208	03-5956-0125
	E-mail	hc_info@emsystems.co.jp	
東北インフォメーションセンター	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県のお客様	050-5577-5207	022-224-0821
	E-mail	tohokuinfo@emsystems.co.jp	
中部インフォメーションセンター	富山県、石川県、福井県、岐阜県、 静岡県、愛知県、三重県のお客様	050-5577-5206	052-202-0068
	E-mail	ngoinfo@emsystems.co.jp	
中部インフォメーションセンター【医科】	富山県、石川県、福井県、岐阜県、 静岡県、愛知県、三重県のお客様	050-5306-8205	052-202-0068
	E-mail	ngoinfo@emsystems.co.jp	
関西インフォメーションセンター	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、 奈良県、和歌山県の 調剤システムをご利用のお客様	050-5577-5205	06-6393-2111
	E-mail	kansaiinfo@emsystems.co.jp	
関西インフォメーションセンター【医科】	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、 奈良県、和歌山県の 医科システムをご利用のお客様	050-5577-5209	06-6391-2128
	E-mail	hc_info@emsystems.co.jp	
コスモシステムズ（株） カスタマーサポートセンター	中国・四国地方のお客様	050-5577-5201	082-270-0688
	E-mail	cosmocs@cosmo-s-systems.com	
九州インフォメーションセンター	九州全域、沖縄県のお客様	050-5577-2794	092-481-8380
	E-mail	fukuoka@emsystems.co.jp	
九州インフォメーションセンター【医科】	九州全域、沖縄県のお客様	050-5306-8204	092-481-8380
	E-mail	fukuoka@emsystems.co.jp	

操作お問合せ	月～金：AM 8:30～PM 8:00 / 土：AM 8:30～PM 6:00 日・祝日：AM 8:30～PM 6:00
障害受付	月～金：AM 8:30～PM 9:00 / 土：AM 8:30～PM 6:00 日・祝日：AM 8:30～PM 6:00
<ul style="list-style-type: none"> ● PM 8:00 ～ PM 9:00 入力操作方法やレセプト（エラー連絡表等含む）に関するお問い合わせをいただきましてもご回答が次営業日以降となる可能性がございますのでご了承ください。 ● 日・祝のみ大阪本社で一括して受け付けさせていただくため電話が転送されます。ご了承ください。 なお、日・祝は障害対応の電話対応のみとなります。 	

よくあるお問い合わせ HP（FAQ サイト）
<p>お客様よりいただくよくあるお問い合わせ（FAQ）を下記に記載しております。 インフォメーションセンターとあわせてご利用ください。</p> <p>https://emsystems.co.jp/faq</p> <p>※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。</p>